

科目名	成人・老年看護方法Ⅴ (看護過程) Adult and Geriatric Nursing Ⅴ		担当教員 (研究室番号)	清水律子 (506) 岡根利津 (308) 山本奈津美 (308) 船尾浩貴 (302) 関根由紀 (504) 田端真 (308) 井上千彰 (308)	教員への連絡方法 (メールアドレス)							
履修年次	3年次 前期	科目 区分	専門科目・生涯看護学		選択 区分	必修	単位数 (時間)	1 (30)	授業 形態	演習	科目等 履修生	否
											オープンクラス	否
科目目的	周手術期にある患者に対して、情報分析、看護診断、計画、実施および評価までの看護過程を展開する。看護過程を展開するうえで、グループディスカッションによる問題解決能力および論理的思考力を養いながら周手術期看護における看護実践について学ぶ。											
ディプロマ・ポリシー (DP)	主要なDP	F 地域社会に暮らす人々の健康課題の解決に向けて、対象に応じた看護を提供できる。(技能・表現)										
	関連するDP	B 人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。(知識・理解) E 地域社会に暮らす人々の生活支援において必要となる情報を分析し、健康課題を解決するための方策を考えることができる。(思考・判断)										
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護の対象となる患者や家族の情報を整理しアセスメントすることができる。</li> <li>2. 看護の対象となる患者や家族にかかわる看護問題を明確にして看護計画を立案することができる。</li> <li>3. 計画に基づき実施した援助を評価することができる。</li> <li>4. 看護診断を用いる意義と活用方法を説明することができる。</li> <li>5. 目標志向型思考を用いた看護についてを述べるすることができる。</li> <li>6. 看護過程の基本的な考え方を理解することができる。</li> <li>7. 自己学習を基にグループディスカッションおよび演習に積極的に参加できる。</li> </ol>											
成績評価方法 (基準)	看護過程 (50%; 2回に分け評価する)、事前課題 (35%)、課題の提出状況および記録物の取り扱い (5%)、自己評価・他者評価 (5%)、小テスト (5%) ※ 看護過程の第1回目評価が60%に満たない場合は課題を課す。											
再試験の有無と基準等	有; 評価対象の合計が60点に満たない者に再試験を行う。再試験として看護過程にかかわる課題を課す。											
教科書	看護がみえる vol.4 看護過程の展開、医療情報科学研究所編集、出版社; メディックメディア											
参考書等	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護診断の看護過程ガイドーゴードンの機能的健康パターンに基づくアセスメント、上野栄一、西田直子編集、出版社; 中央法規出版</li> <li>ヘンダーソン・ゴードンの考えに基づく 実践看護アセスメント [第3版]、渡邊トシ子編集、出版社; ヌーヴェルヒロカワ</li> </ul>											
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待	本科目は、個人ワーク・グループディスカッションを通して、成人期から老年期にある患者や家族を対象として、各病期における看護過程を展開することが中心となります。主体性と論理的思考を基盤に、対象に応じた必要な思考過程を確実に身に付けてください。											
備考	本科目の先修条件は、基礎看護技術Ⅳ、成人・老年看護方法Ⅰ～Ⅲになります。											
回	学習項目				学習内容				主担当 教員	授業 方法		
1回	看護過程の展開① ・事例紹介 ・事例患者の病態の理解				グループディスカッションにて、事例患者の病態について理解する。				清水 他	演習		
2回	看護過程の展開② ・看護過程 ・ゴードンの機能的健康パターン				看護過程を用いた思考プロセスについて学ぶ。また、ゴードンの機能的健康パターンを用いた看護過程展開について学ぶ。				清水 他	講義		
3回	看護過程の展開③ ・各パターンにおける情報の整理とアセスメント				事例に基づく看護過程の展開 (情報の整理・アセスメント) 個人ワークにて、「健康知覚-健康管理パターン」について、情報の整理とアセスメントをする。				清水 他	演習		
4回	看護過程の展開④ ・各パターンにおける情報の整理とアセスメント				事例に基づく看護過程の展開 (情報の整理・アセスメント) 個人ワークにて、「栄養-代謝パターン」「排泄パターン」について、情報の整理とアセスメントをする。				清水 他	演習		
5回	看護過程の展開⑤ ・各パターンにおける情報の整理とアセスメント				事例に基づく看護過程の展開 (情報の整理・アセスメント) 個人ワークおよびグループディスカッションにて、「活動-運動パターン」「睡眠-休息パターン」「認知-知覚パターン」について、情報の整理とアセスメントをする。				清水 他	演習		
6回	看護過程の展開⑥ ・各パターンにおける情報の整理とアセスメント				事例に基づく看護過程の展開 (情報の整理・アセスメント) 個人ワークにて、「自己知覚-自己概念パターン」「役割-関係パターン」について情報の整理とアセスメントをする。				清水 他	演習		
7回	看護過程の展開⑦ ・各パターンにおける情報の整理とアセスメント				事例に基づく看護過程の展開 (情報の整理・アセスメント) 個人ワークにて、「セクシュアリティ-生殖パターン」「コーピング-ストレス耐性パターン」「価値-信念パターン」について情報の整理とアセスメントをする。				清水 他	演習		

8回	看護過程の展開⑧ ・各パターンにおける情報の整理と アセスメント	事例に基づく看護過程の展開（情報整理・アセスメント） 個人ワークおよびグループディスカッションにて、各パターンの 情報の整理とアセスメントをする。また、関連図を用いた看護 問題の統合を学ぶ。	清水 他	演習
9回	看護過程の展開⑨ ・事例患者の全体像 ・看護問題の明確化	個人ワークおよびグループディスカッションにて、関連図を作 成し、事例患者の全体像と看護問題を明確にする。	清水 他	演習
10回	看護過程の展開⑩ ・優先順位 ・看護計画の立案	個人ワークおよびグループディスカッションにて、優先順位を 明確にし、看護計画を立案する。	岡根 他	講義
11回	看護過程の展開⑪ ・援助の実施と評価	立案した看護計画の援助を実施し、経過記録にて評価する。	岡根 他	演習
12回	目標志向型思考	個人ワークおよびグループディスカッションにて、目標志向型 思考を用いた看護について学ぶ。	清水 他	演習
13回	看護過程の展開⑫ ・看護過程の展開の振り返り ・看護サマリー ・看護診断 術後（傷害期）の看護過程展開	看護過程の展開を振り返り、看護の対象となる患者や家族への 看護を理解する。また、看護サマリーの記載方法について学 ぶ。 看護診断を用いる意義と活用方法について学ぶ。	清水 他	演習
14回	術後（傷害期）に関する情報の整理と アセスメント	個人ワークおよびグループディスカッションにて、術後（傷害 期）に関する情報の整理・アセスメントについて学ぶ。	岡根 他	演習
15回	術後（傷害期）に関する看護問題と看護計 画	個人ワークおよびグループディスカッションにて、術後（傷害 期）に関する看護問題・看護計画について学ぶ。	岡根 他	演習

## 学 習 課 題

1回目課題（事前）：事例の患者の病態について学習し、指定期日までに提出する。【評価対象】
2回目課題（事後）：ゴードンの機能的健康パターンについて復習する。
3回目課題（事後）：「健康管理－健康知覚パターン」に必要な情報とアセスメントを記述し、指定期日までに提出する。【評価対象】
4回目課題（事前）：「栄養－代謝パターン」「排泄パターン」のアセスメントに必要な基礎的な知識を学習し、指定期日までに提出する。 【評価対象】 *学習項目は第1回目の授業で提示する。 （事後）：当該パターンに必要な情報とアセスメントを記述し、指定期日までに提出する。【評価対象】
5回目課題（事前）：「活動－運動パターン」「睡眠－休息パターン」「認知－知覚パターン」のアセスメントに必要な基礎的な知識を 学習し、指定期日までに提出する。【評価対象】 *学習項目は第1回目の授業で提示する。 （事後）：当該パターンに必要な情報とアセスメントを記述し、指定期日までに提出する。【評価対象】
6回目課題（事前）：「自己知覚－自己概念パターン」「役割－関係パターン」のアセスメントに必要な基礎的な知識を学習し、指定期日 までに提出する。【評価対象】 *学習項目は第1回目の授業で提示する。 （事後）：当該パターンに必要な情報とアセスメントを記述し、指定期日までに提出する。【評価対象】
7回目課題（事前）：「セクシュアリティ－生殖パターン」「コーピング－ストレス耐性パターン」「価値－信念パターン」のアセスメント に必要な基礎的な知識を学習し、指定期日までに提出する。【評価対象】 *学習項目は第1回目の授業で提示する。 （事後）：当該パターンに必要な情報とアセスメントを記述し、指定期日までに提出する。【評価対象】
8回目課題（事前）：各パターンの情報の整理とアセスメントを修正する。 ※第3回～7回目の事後課題については、配付ファイルにまとめ、指定期日までに提出する。【評価対象】
9回目課題（事前）：関連図を描き、指定期日までに提出する。【評価対象】 （事後）：修正した関連図を指定期日までに提出する。【評価対象】 （事後）：看護問題リストを記述し、指定期日までに提出する。【評価対象】
10回目課題（事後）：優先順位を記述し、指定期日までに提出する。【評価対象】 （事後）：看護計画を記述し、指定期日までに提出する。【評価対象】
11回目課題（事前）：看護計画の具体的な援助を記述し、指定期日までに提出する。【評価対象】 （事後）：修正した看護計画を記述し、指定期日までに提出する。【評価対象】 ※第9回～11回目の事後課題については、配付ファイルにまとめ、指定期日までに提出する。【評価対象】
12回目課題（事後）：目標志向型思考について復習する。
13回目課題（事後）：事例患者の看護過程について復習する。看護診断について復習する。
14回・15回目課題（事前）：術後（傷害期）に関する情報とアセスメントを記述し、指定期日までに提出する。【評価対象】

## 実務経験を活かした教育の取組

・担当教員全員は、看護職として実務経験がある。また、看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本科目の講義と演習を行う。